



2026年3月31日

各 位

会 社 名 株式会社 **ブルボン**
代表者名 代表取締役社長 吉田 匡慶
コード番号 2208 東証スタンダード
問 合 せ 先 取締役財務管理部長 間島 孝弘
TEL (0257) 23-2333

ポジティブ・インパクト・ファイナンスの締結に関するお知らせ

当社は、株式会社 第四北越銀行（本社所在地：新潟県新潟市中央区、頭取：殖栗 道郎）との間で「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」によるコミットメントライン契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 目的

当社の持続的成長に向けた資金需要に対し、機動的かつ安定的な資金調達手段を確保するとともに、事業活動を通してサステナブルな社会構築への貢献を図ることを目的とし締結するものです。

2. ポジティブ・インパクト・ファイナンスの概要

- | | |
|-----------|-------------|
| (1) 契約締結先 | 株式会社 第四北越銀行 |
| (2) 組成金額 | 2,000 百万円 |
| (3) 契約締結日 | 2026年3月31日 |

本契約締結に当たり、当社のESG重点活動項目と評価指標を後述の通り設定し、今後毎年、第四北越リサーチ&コンサルティングより目標達成状況の評価をいただきます。なお本件は、株式会社格付投資情報センター(R&I)(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：吉田 透)から、評価にかかる手続きのポジティブ・インパクト金融原則^{※1}への適合性、活用した評価指標の合理性について、第三者意見を取得しています。

3. 今後の見通し

本件による今期業績に与える影響は軽微であります。

(ご参考)

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済にもたらすインパクト(ポジティブな影響とネガティブな影響)を包括的に分析・評価し、ポジティブインパクトの拡大とネガティブインパクトの緩和について目標を設定のうえ、その実現に向け金融機関がモニタリングしながら目標達成に向けて支援する融資です。

【重点活動項目と評価指標】

テーマ	取組方針・取組内容	KPI	SDGs
安全・安心な製品の安定的な供給	<ul style="list-style-type: none"> 菓子事業の積極的な海外展開を図るとともに、健康を軸とした製品付加価値向上を目指す。 消費者に安全・安心な製品を提供するため、ISO9001などの国際規格に基づいた品質管理体制を運用することにより、品質保証の仕組みづくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 2026年度（2027年3月期）の同社の売上高（連結）を125,000百万円[※]以上にする ISO9001、ISO22000、FSSC22000の認定を継続する。 	
人材の多様性の確保を含む人材育成および社内環境整備への対応	<ul style="list-style-type: none"> 従業員一人ひとりを「人財」と捉え、大切な経営資源として戦略的・継続的な育成を行う。 従業員一人ひとりが各々の個性を認め合い、能力を最大限活かし合う工夫や取り組みを続けていくことで、組織と個人の成果の最大化につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 2030年度（2031年3月期）の女性管理職比率を15%にする。 育児休業取得率（男性および女性）の100%を維持・継続する 2030年度（2031年3月期）の有給休暇取得率を100%にする。 健康経営優良法人「ホワイト500」および「プラチナくるみんプラス」の認定を継続する。 	
環境負荷軽減への対応	<ul style="list-style-type: none"> 顧客の期待に応える品質水準で安全・安心な製品を継続的に提供するため、研究開発、販売、流通、消費、廃棄の各段階において、地球環境の保全と環境問題について取組を強化する。 サステナブル原材料の調達率を高めることで、熱帯雨林の破壊や生物多様性の損失などの環境問題の解決に貢献する。 	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ優良事業者（Sクラス）の取得を継続する。 同社のCO₂排出量を2030年度（2031年3月期）までに2013年度（2014年3月期）比で46.0%削減する。 再生可能エネルギーの利用率を2030年度（2031年3月期）までに30.0%にする。 2026年度（2027年3月期）のプラスチック使用量を2018年度（2019年3月期）比8%削減する。（2028年3月期以降の目標は改めて設定する。） サステナブル原材料の調達率を高めていく。具体的には、カカオ豆は2027年度（2028年3月期）に100%、パーム油は2030年度（2031年3月期）に100%にする。 	  

○第四北越リサーチ&コンサルティング 株式会社による評価書は、下記 URL よりご覧ください。
[\(https://www.dhrc.co.jp/\)](https://www.dhrc.co.jp/)

○株式会社 格付投資情報センターによる第三者評価は、下記 URL よりご覧ください。
<https://www.r-i.co.jp>

今後も当社では、「おいしさ、思いやり、いつもいっしょに。」のコーポレートメッセージの下、お客様の笑顔につながるサステナブルな活動を推進してまいります。

※1 国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が 2017 年 1 月に策定した、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた金融の枠組です。企業が SDGs の達成への貢献を KPI で開示し、銀行はそのプラスの影響を評価して資金提供を行うことにより、資金提供先企業によるプラスの影響の増大、マイナスの影響の低減の努力を導くものです。融資を実行する銀行は、責任ある金融機関として、指標をモニタリングすることによって、インパクトが継続していることを確認します。

※2 2026 年 3 月期はこれまでに、加工度の高いロングセラー商品を多く有するビスケット品目を中心として、拡販に注力した結果伸張しました。各種原材料価格の高止まりの状況下で引き続き、価格優位性の高さに加え、健康志向や高付加価値ニーズを満たしたビスケット品目の拡販に注力することで、目標の達成に向けて取り組みます。

【用語について】

○ISO9001

顧客に提供する製品・サービスの品質を継続的に向上させていくことを目的とした、品質マネジメントシステムに関する国際規格です。

○ISO22000

HACCP（ハサップ）の食品衛生管理手法をもとに食品安全のリスクを低減し、安全なフードサプライチェーンの展開を実現させることを目的とした、食品安全マネジメントシステムに関する国際規格です。

○FSSC22000

ISO22000 を追加要求事項で補強し、消費者に安全な食品を提供することを目的とした、食品安全マネジメントシステムに関する国際規格です。

○健康経営優良法人「ホワイト 500」

経済産業省が認定する健康経営の普及促進に向けた、健康経営優良法人認定制度の中で、大規模法人部門の上位 500 社に与えられる認定です。

○プラチナくるみんプラス

厚生労働省が認定する子育てサポート企業の認定制度「プラチナくるみん」の基準に加え、不妊治療と仕事の両立支援に関する基準を満たした企業に与えられる認定です。

○省エネ優良事業者（S クラス）

経済産業省が省エネ法の定期報告を提出する全ての事業者を S・A・B・C の 4 段階にクラス分けし、省エネが優良な目標達成事業者を「S クラス」として事業者名や連続達成年数をホームページで公開しています。

○サステナブル原材料

調達、製造、廃棄の過程で環境負荷が低く、将来にわたって安定供給が可能な「持続可能な材料」のことです。